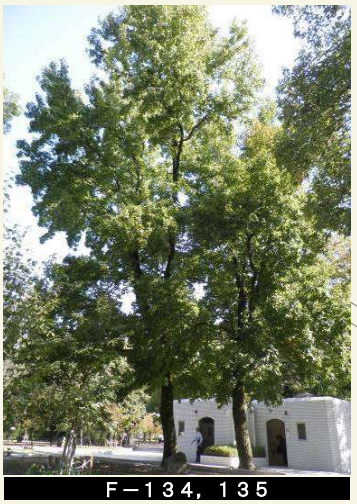
HIROSHIMA PEACE MEMORIAL PARK

平和記念公園 寄付樹木 MAP （ E, F, Jブロック ）

寄付の経緯は
こちらから



Ｆ－１３４，１３５

タイワンフウ *Liquidambar formosana*

寄贈者：カナダ政府

カナダ政府からカナダ産のカエデ（ベニカエデ）が贈られ、カナダ駐日大使と広島市長により植樹されました。現在、記念碑の横にあるカエデはタイワンフウです。

Ｆ－９７

オウシュウナラ *Quercus robur*

寄贈者：西ドイツ大学教授団

西ドイツ大学教授団来広記念として昭和36年（1961年）に4本植えられましたが、平成31年（2019年）に最後の1本が枯死しました。

現在あるものは、広島市が令和8年（2026年）に植えたものです。

〔凡例〕
- 寄付樹木(説明板あり)
- 寄付樹木
- ソメイヨシノ(市政120周年記念)
- エドヒガン(市政120周年記念)
- ソメイヨシノ(広島市商業学校 第5回卒業生)
- タイサンボク(日本民間放送連盟)
- 調査中の樹木

Ｅ－３など

ソメイヨシノ *Prunus × yedoensis*

寄贈者：広島市商業学校第5回卒業生

原爆犠牲者の霊を慰めるとともに平和記念公園の施設の拡充を図ろうとの発意で広島市商業学校の第５回卒業生の２５周年記念として１５０本のサクラが贈られました。

Ｆ－７８

クロマツ *Pinus thunbergii*

寄贈者：吉本壽一（市民）

平和大通りの整備が始まった頃の広島市は、財政難で思うように木が植えられませんでした。そこで、県内の市町村に樹木の提供をお願いしたところ、昭和32年（1957年）から翌33年（1958年）にかけて多くの団体や個人から樹木や苗木が寄せられ、平和大通りをはじめ、公園や道路に植えられました。これが、供木運動ですが、このクロマツもこの呼びかけに対して贈られたもので、旧新庄橋西詰にあったものを馬車にて運搬したものです。平和記念公園に現存する供木はこの１本のみです。

平和記念公園の完成を一年後に控えた昭和29年（1954年）、広島市は「平和を愛する全国民の手で広島平和記念公園に平和郷を建設したい」との想いで、全国の市長に宛てて樹木の寄贈を要請しました。その趣旨に応え、札幌市、清水市、高松市など、１０都市から樹木が贈られました。

Ｆ－８８，８９

ハルニレ *Ulmus davidiana var. japonica*

寄贈者：札幌市

上記の呼びかけに応え、札幌市からは、１０本のハルニレが贈られました。

Ｆ－１６１

オリーブ *Olea europaea*

寄贈者：高松市

上記の呼びかけに応え、高松市からは、１０本のオリーブが贈られました。

Ｆ－１４４

イチョウ *Ginkgo biloba*

寄贈者：清水市

上記の呼びかけに応え、清水市からは、１０本のイチョウが贈られました。